

2024年度
教育学会教員連絡総会(夏)



期日：2024年8月9日（金）

時間：受付 9:30～

開始 10:00～

目次

○2024年度教育学会教員連絡会 プログラム

○教育学会運営委員会

- ・総会、春季定例会報告
- ・議長団総会報告
- ・2024年度教育学会予算(確定版)
- ・秋季定例会計画
- ・ゼミ説明会計画

○教育学会後援団体

- ・後援団体 球技
- ・後援団体 大合宿
- ・後援団体 コンサート/共催実行委員会

2024 年度教育学会教員連絡会 プログラム

0. 教員代表挨拶

1. 教育学会運営委員会活動報告

①2024 年度総会

②2024 年度春季定例会

2. 教育学会運営委員会活動計画

①2024 年度秋季定例会

②ゼミ説明会

3. 後援団体活動計画

①後援団体 球技

②後援団体 大合宿

③後援団体 コンサート/共催実行委員会

4. おわりに

2024 年度 教育学会運営委員会 活動報告

2024 年 8 月 9 日

報告者 運営委員会委員長 杉澤主税

【教育学会総会】

1. 出席者数

1 年生 120 名 2 年生 72 名 3 年生 45 名 4 年生 11 名 委任状 118 名 計 366 名

2. 反省点

<会計>

① 赤字予算について

今年度の繰越金を除く教育学科の収入が 1,139,600 円に対し、予算の合計が 1,699,820 円となり、560,220 円の赤字となっている。原因としてはコロナ禍に後援団体行事が軒並み中止となり、委員全体で実際に行事を経験した学年がない事態になってしまい、このことを考慮して予算を増額したことにある。現在はコロナウイルスも終息に向かい、例年の予算に戻せるように各後援団体と協議し、赤字予算の改善に努めたい。

② 繰越金の使い道について

今年度時点では 3,597,982 円の繰越金がある。教育学科 50 周年記念企画での使用もあったが、依然として繰越金が多くあるのが現状である。この使い道で後援団体で永続的に使用できるもの（スピーカーなど）や新たに教育学科でイベントを企画するなどで学会員に還元できる方法を考えていきたい。

③ 会計監査実施時期の遅れについて

例年会計監査は、3 月下旬から 4 月上旬までに実施されるが、今年度は運営委員会の学会誌作成の遅れや、各後援団体との予算返金の作業に遅れが生じたため実施が 4 月 22 日になってしまった。よって総会資料作成全体の遅れにつながってしまった。来年度は前年度中決算を確定し、遅くとも 4 月上旬には会計監査を終えられるように努める。

④ 予算案の中に前年度決算の記載を追加する

予算作成にあたって、前年度どのような決算内容になったがために今年度の予算になったのかを学会員が判断できないため予算案の中に前年度決算の記載を追加する変更を来年度以降は実施していく。また予算作成の際に前年度決算のみを参考にするのではなく、最低でも過去 3 年分を見て予算を検討することを心がける。

<運営について>

① 受付の混雑

1年生の人数が多いのにも関わらず、受付のブースを他の学年と同じ数にしてしまったため、混雑してしまった。

→1年生は多く来ることを見据えて、受付ブースを増やす等の工夫が必要。

② 資料の分かりにくさ

特に前年度会計報告の金額等、分かりにくい場所が何点かあった。

→大事な部分は太字にする、前年度の資料も参考として一緒に載せるなどの工夫が必要。

③ 公欠届の扱い

当日、電車の遅延があった。事前に電車の遅延の想定ができていなかったため、委員の中でも認識のズレが起きてしまい、バタついてしまった。

→遅延等の突然起こりうることも事前に想定して、準備を進めていく必要がある。

④ 委任状の確認

事前に確認できていなかったため、ギリギリで委任状の人数を数えることになってしまった。

→前々から確認を怠らないことが必要。

⑤ Google フォームの回答の少なさ

その場でやってもらわなかつたこともあり、事後アンケートの回答が出席人数と比べて少ない状態になってしまった。

→事後アンケートの回答は、総会が終わったらその場で回答してもらうようにする。

全体を通して…

例年に比べて委員の仕事がスムーズであったり、時間が予定より早く終わったりと全体的に上手く進めることができたと思う。しかし、まだまだ反省点は多くあり、例年の反省を改善できていない部分もある。例年の反省、今年の反省を活かして、来年の総会に向けてしっかりと準備していきたいと思う。

2024 年度 教育学会春季定例会 活動報告

2024 年 8 月 9 日

報告者 東龍亮

1. 開催目的

運営委員会が設定するテーマについて学会員全体で考える場を設け、多様な視点を自己に取り入れるとともに、他学年を含めた多くの学会員と交流を図る。

2. テーマ

「私が思う私。あなたから見た私。～他を知ること～」

3. 開催日時

令和 6 年 5 月 14 日 (火) 13 時 30 分～15 時 30 分

4. 開催場所

大東文化大学東松山キャンパス 60 周年記念講堂

5. 参加人数

1 年生 94 名 2 年生 69 名 3 年生 19 名 4 年生 9 名 計 191 名

6. 運営体制

教育学会運営委員会 2 年生 10 名

実行委員長 東 龍亮 (2 D)

副実行委員長 浅野 維吹 (2 A)

7. 当日の内容および振り返り

【プログラム】

①導入

春季定例会の内容の理解を深めるための委員による劇を実演。

②開会宣言・実行委員長挨拶・テーマ紹介

テーマ設定の背景、概要を説明。

③アクティビティ 「隣の人ってどんな人？」

第一印象を話し合しあうことと自己紹介に加え、チャレンジ形式でのコミュニケーションゲームを実施。自分の新たな印象を知れるとともに、他学年との関わりをスムーズにつなぐことができた。

④アクティビティ 「unanswered Question」

出題された答えのない問い合わせに対し個人での考えを持ち、班の人とディスカッション形式の話し合い。自分とは違う意見を聞くことで比較を行い、自己を見つめなおすきっかけとなつた。

⑤感想共有

参加者数名にその場で春季定例会についての感想を話してもらい、全体の振り返りを実施。

⑥副実行委員長挨拶

春季定例会の統括、振り返りを実施。

⑦閉会宣言

来場者アンケートをその場で回答依頼、運営委員会の SNS のリンクの掲載。



8. 春季定例会に関する反省

【準備に関して】

- ・春季定例会のテーマ設定について、先輩方から方向性は伝えられていたものの、私、春季定例会実行委委員長の春季定例会への理解が足りなくテーマ設定が難航した。
- ・2年生での準備は順調に進められていたが、3年生以上の先輩への共有が少なかったため、シミュレーションを見せることが遅れてしまった。先輩への情報共有を来年度は増やしていきたい。

【当日の進行などについて】

- ・受付にて混雑してしまい、いくつかのトラブルに対処しきれなかつたので、学年ごとのルートを作り対応できるようにしていきたい。
- ・時間に余裕を作れなかつた。総会終了時に開始の時間だけを伝えてしまい、時間通りに学生たちが着席をスムーズに行えなかつたので、開始時間が遅れてしまった。次回は開場時間だけを案内し、開始前の会場の状況に合わせて開始時間を設定したい。

2024 年度 教育学科総会総括

2024 年 8 月 9 日

報告者 議長 金子晴南

副議長 鳥羽こはる

2024 年 5 月 14 日に行われた教育学会総会の副議長として参加し、ここに反省点と改善策を提出し、以下の通り報告します。

記

【反省点】

- ・東部東上線の遅延の影響で開始時間が曖昧になり、学生や教授を待たせたこと。
- ・発言や質問をする学生、教授が同じ人ばかりで固定化されていたこと。
- ・総会マニュアルが、多々誤字、言葉遣いが不適切なものがあり、事前に修正されていなかったこと。
- ・総会マニュアルの順番が大きく前後した点があったにも関わらず、事前に修正されておらず、総会直前に口頭で指示を受けたこと。
- ・手元にメモ用紙を置いていなかったため、議論中に出た意見をメモするスペースが無いかつたこと。

【原因】

- ・学生や教授への状況の説明、明確な開始時間等の説明や連絡が遅れてしまった。
- ・寝ている学生が多くみられ、議論に対して関心を持っている学生が少ないこと。
- ・予算案に関する知識が学生は乏しく、議論に参加するのが難しかったこと。
- ・総会マニュアルの言葉遣いは以前の使いまわし(と予測)により台本の確認不足。

【改善策】

- ・明確な開始時間等の説明や連絡は早めに行うようにし、画面に大きく映すなどし、わかりやすく表示するように心がける。
- ・総会の 1 週間前には、議長副議長と共に総会マニュアルを確認する時間を設ける。
- ・来年度に備え、総会マニュアルの台本の言葉遣いやミスを改めて見直し修正する。
- ・手元にメモ用紙を用意する。

以上

2024 年度 教育学会予算

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

〈収入の部〉		(単位 : 円)		
科目	今年度予算	前年度決算	備考	
会費収入	1, 134, 000	980, 000		
1 年生学会費	1, 078, 000	931, 000		
編入生学会費	0	21, 000		
大学院 1 年生学会費	56, 000	28, 000		
繰越金				
前年度繰越金	3, 597, 982	4, 538, 000		
収入合計	4, 731, 982	5, 518, 100		
〈支出の部〉				
科目	今年度予算	前年度予算	前年度決算	備考
教育学会運営委員会	527, 600	716, 940	309, 031	
教育学会総会	11, 000	11, 000	7, 000	
郵送代	5, 000	5, 000	1, 000	
花束代	6, 000	6, 000	6, 000	1, 500×4
春季定例会	10, 000	15, 000	4, 407	
企画費	10, 000	15, 000	4, 407	
秋季定例会	27, 500	27, 500	7, 977	
企画費	20, 000	20, 000	873	
花束代	3, 500	35, 000	3, 500	講師への花束代
弁当代	1, 000	1, 000	850	講師への弁当代
お茶菓子代	3, 000	3, 000	2, 754	講師へのお茶菓子代
ゼミ説明会交通費	56, 000	64, 000	0	最寄り駅～高坂駅間 1 人往復 2, 000 円と仮定 往復 2, 000 円×14 ゼミナール×2 人
公開ゼミ補助費	60, 000	60, 000	0	
公開ゼミ予備費	20, 000	20, 000	0	
教育学会誌	350, 500	390, 000	214, 940	
製作費	300, 000	300, 000	214, 940	
編集費	50, 000	50, 000	0	
郵送費	0	40, 000	0	
手数料	500	0	0	
印刷費	30, 000	30, 000	17, 996	

交通費	0	85, 440	56, 604	
記録用 DVD	0	1, 000	0	
アルコール消毒	0	3, 000	0	
振り込み手数料	3, 000	0	0	
雑費	10, 000	10, 000	107	
後援団体	974, 220	1, 181, 000	655, 771	
後援団体大合宿	410, 000	681, 300	422, 445	別紙参照
後援団体球技	220, 920	161, 400	107, 079	別紙参照
後援団体コンサート	193, 300	188, 000	126, 247	別紙参照
後援団体予備費	150, 000	150, 000	0	50, 000 円×3 団体
大学院生	168, 000	168, 000	0	
未還元学会費	140, 000	140, 000	0	
研究支援費	28, 000	28, 000	0	
学会費返金	30, 000	30, 000	20, 925	
返金	30, 000	30, 000	20, 925	
教育学科創立 50 周年企画	0	1, 240, 791	934, 391	
支出合計	1, 699, 820	3, 336, 731	1, 920, 118	

2024 年度 教育学会運営委員会 活動計画

2024 年 8 月 9 日

報告者 小川祐哉

1. 開催日時

10 月 16 日 (水) 9 時 30 分～11 時 30 分 (予定)

2. テーマ

「LGBTQ+」

【設定理由】

昨年の「教育学科コンサート」において、クラス発表の際男子学生が女装をして踊る行為や同性同士でキスをし、それを学生が嘲笑するといった事例が発生した。この行為に対して「マイノリティの方々への配慮や多様性を尊重する意識が薄れている。」という意見が出た。学生たちにそのような意図はなかったが、マイノリティの方々は不快に思い、無意識に傷つけてしまうこともあると言うことを知った。このことから、今年度の秋季定例会のテーマを「LGBTQ+」とし、コンサートの事例のように知らず知らずのうちにマイノリティの方を傷つけてしまわぬよう、十分に理解を深めることが必要だと考えテーマを設定した。

3. 開催場所

大東文化大学東松山キャンパス 60 周年記念講堂

4. 講師

杉山文野 様 株式会社ニューキャンバス代表

【依頼理由】

「LGBTQ+」の中でも、特にトランスジェンダーについての理解が浅いため、トランジンジャーである当事者の方に講演していただきたいと考えた。また、運営委員会の会議の中で同性婚についても知りたいという意見があった。調べてみると、同性婚は現在の日本では認められていないが、自身がトランスジェンダーでありパートナーの女性と精子提供者の男性と 3 人親として 2 人の子どもを育てている杉山文野様について知り、今回のテーマについて当事者である杉山様から話を聞きたいと考えた。以上のことから依頼させていただいた。

【講演内容】(予定)

- ・トランスジェンダー
- ・多様性
- ・ダイバーシティ&インクルージョン

※今後zoom等での打ち合わせを通して内容を確定させてまいります。

【目標】

- ・教師になるならない関係なく、一社会人として、「LGBTQ+」について学び理解を深める。
- ・子どもたちが学ぶ意義や、その方法について知り、教育の在り方について考える。
- ・多様性を尊重し、互いの違いを受け入れ、認め合う心を育む。

2024 年度 ゼミ説明会における活動計画

2024 年 8 月 9 日

報告者 発知里世音

1. 開催日時

10 月 21 日（月）14 時 00 分～15 時 30 分

2. 開催場所

東松山キャンパス 60 周年記念講堂

3. 開催目的

教員主催のゼミ見学会とは異なり、ゼミ生自ら見えた各ゼミで学べる事や様子、実態を二年生に伝える役割を担う。ゼミ説明会を通して、各ゼミの活動内容や雰囲気を知つてもらうことが目的である。

4. 開催経緯

【開催日時経緯】

昨年は、ゼミ見学会の後にゼミ説明会を開催したが、同日開催はその日に予定が入っているとどちらにも参加できない参加者がいるという問題があった。そのため、今年度は、ゼミ見学会と日付をずらして開催しようと予定している。また、開催時間が遅くなると二年生の参加率の低下が予測されるので、ゼミ生の移動時間を考えたうえで一番早いこの時間に設定しようと考えている。

【開催場所について】

去年は板橋校舎で開催したが、今年度は参加者の二年生の参加率を高めることを目的に東松山キャンパスでの開催にいたった。また、たくさん人数が入ることやスクリーンなどの機械を使用することができることから 60 周年記念講堂での開催を考えている。

2024 年度 球技 活動計画

2024 年 8 月 9 日

報告者 後援団体 球技 代表 優田涼平

【アウトライン】

- ①秋季大会予定
- ②冬季大会予定

【①秋季大会活動予定について】

1. 開催日時 : 9 月 22 日 (8~9 時間ほど借用予定)
2. 開催場所 : 緑山キャンパス

〈1 日の流れ〉

開会式

企画 ※企画の時間については 1 時間ほどを予定
予選
決勝トーナメント
閉会式

種目 : ハンドボール

目的 : 体を動かす機会を設けるとともに、スポーツを通して同学年や他学年との親睦を深める。

【②冬季大会活動予定について】

1. 開催日時 : 12 月 15 日 (8~9 時間ほど借用予定)
2. 開催場所 : 東松山キャンパス総合体育館

〈1 日の流れ〉

開会式

企画 ※企画の時間については 1 時間ほどを予定
予選
決勝トーナメント
閉会式

種目 : ドッジボール

目的 : 体を動かす機会を設けるとともに、スポーツを通して同学年や他学年との親睦を深める。

【昨年度からの反省点】

- ・大会の 1 日のタイムスケジュールや持ち物、集合場所などの詳細を早めに参加者に通知する。

- ・大会当日の参加者の遅刻や早退の把握、管理を徹底し、大会途中に支障がないよう球技委員全体に共有する。
- ・球技大会用の参加者の LINE グループを活用し、試合時間や対戦相手、集合場所などを通知することで大会が円滑に進むようにする。

2024 年度 大合宿 活動計画

2024 年 8 月 9 日

報告者 後援団体大合宿 代表 番場凌矢

【アウトライン】

- ① シミュレーションについて
- ② 小合宿について
- ③ 大合宿について

【①シミュレーションについて】

- 1. 開催日時 : 8 月 26 日
- 2. 開催場所 : 大東文化大学緑山キャンパス
- 3. 内容 : 大合宿にて行うレクリエーションの試行
- 4. 詳細 : 実践を踏まえた企画考案を行うことで、レクリエーションが安全且つ円滑に行えるようにする。入念な確認を行い、大合宿本番での怪我防止対策や熱中症対策をより十分なものにする。

【②小合宿について】

- 1. 開催日時 : 8 月 18 日～8 月 19 日 1 泊 2 日
- 2. 開催場所 : 群馬県前橋市富士見町赤城山 27
- 3. 内容 :
 - ・実践を踏まえた企画考案を行うことで、レクリエーションが安全且つ円滑に行える よう にする。
 - ・入念な確認を行い、大合宿本番での怪我防止対策や感染症対策をより十分なものに する。
 - ・宿泊込みという大合宿に近い環境下でシミュレーションを行い、より参加者の立場に立つた対策考案や企画考案を行う。
- 4. 詳細 :
 - ・1 泊 2 日、委員のみで大合宿当日の流れの確認や企画運営等のシミュレーションを行う。
 - ・大合宿本番が安全且つ円滑に行えるよう、各々が考案してきたレクリエーションを委員のみで実践する。
 - ・司会と裏方、参加者役に分かれ、本番の流れを確認し雰囲気を掴む。
 - ・本番と同じ流れで行い、安全面にも不足がないか確認する。
 - ・実際の施設での移動時間や、移動ルートを確認し大合宿当日に、大合宿委員全員が誘導で きるようする。
 - ・その後の会議で小合宿の反省をし、大合宿本番に向けて準備していく。

タイムスケジュール

1日目

7:30 高坂駅出発
9:30 到着・荷物を下ろす
9:45 開会式
10:15 レクリエーション
11:00～13:30 野外炊事
13:45 レクリエーション
18:00 食堂で晩御飯
19:00 キャンプファイヤー¹
20:30～21:30 お風呂
21:45 以降順次就寝

2日目

6:30～7:20 起床・あさの集い
7:20～8:15 朝食
8:15～9:00 部屋の掃除・荷物移動
9:00～11:45 レクリエーション
11:45～14:15 野外炊事
14:15～16:10 レクリエーション
16:10～16:30 バス出発

【③大合宿について】

1. 開催日時： 9月3日～9月5日 2泊3日
2. 開催場所： 群馬県前橋市富士見町赤城山 27
3. 内容： 縦割り班でのレクリエーションや野外炊事、キャンプファイヤー
4. 詳細・目的： 学年や既存の交流の枠を越えた班で企画に参加することで、自主性や協調性を育み、仲を深める。学年の縦と横の繋がりを増やし、交流を深める機会を設ける。学びに関連したレクリエーションを取り入れることで、将来社会に出た際に役に立つ知識を得る。

タイムスケジュール

施設と打ち合わせ中

2024年度 大合宿 予算申請案

2024年8月9日

報告者 後援団体 大合宿 会計 岡田康生

【大合宿】

- ・施設料 薪代 $650\text{円} \times 15 = 9,750\text{円} \rightarrow 750\text{円} \times 15 = 11,250\text{円}$
- ・施設料 キャンプファイヤー(薪、灯油) $5,900\text{円} \rightarrow 3,100\text{円}$
- ・予備費 $3,924\text{円} \rightarrow 5,224\text{円}$

【小合宿】

- ・施設料 薪代 $650\text{円} \times 5 = 3,250\text{円} \rightarrow 750\text{円} \times 5 = 3,750$
- ・施設料 キャンプファイヤー(薪、灯油) $5,900\text{円} \rightarrow 3,100\text{円}$
- ・交通費 バス代（往復） $158,400\text{円} \rightarrow 168,260\text{円}$
- ・予備費 $6,387\text{円} \rightarrow 9,127\text{円}$
- ・交通費小計 $204,463\text{円} \rightarrow 214,323\text{円}$
- ・合計 $220,000\text{円} \rightarrow 230,000\text{円}$

そのため、後援団体の予備の予算から追加申請します。

大合宿		
項目	詳細	金額
企画費	・1日目、2昼、2夜、3日目、通し、開閉会式 15,000円×6=90,000円	<u>小計 90,000円</u>
野外炊飯用具費	・ペーパー 110円×36=3,960円 ・ダスター 110円×12=1,320円 ・スポンジ 110円×2=220円 ・割りばし 110円×5=550円 ・紙コップ 110円×15=1,650円 ・洗剤 110円×2=220円 ・ハンドソープ 110円×3=330円 ・クレンザー 109円×5=545円 ・かなだわし 110円×2=220円 ・紙皿 110円×2=220円	<u>小計 9,235円</u>
医療費	・冷えピタ 509円×1=509円 ・冷却スプレー 495円×1=495円 ・大きい絆創膏 439円×1=439円 ・テーピング 110円×1=110円 ・小さい絆創膏 398円×1=398円	<u>小計 1,951円</u>
交通費	・緊急車両ガソリン代（往復） 3,000円×1=3,000円 ・緊急車両レンタル代 35,640円×1=35,640円 ・緊急車両有料道路代（往復） 3,800円×1=3,800円 ・打合せガソリン代 3,000円×1=3,000円 ・打合せ有料道路代 3,800円×1=3,800円	<u>小計 49,240円</u>
文房具代	・テープ、ペン、画用紙、絵具、ラミネート	<u>小計 20,000円</u>
施設料	・薪 750円×15=11,250円 ・キャンプファイヤー(薪、灯油) 3,100円×1=3,100円	<u>小計 14,350円</u>
予備費		<u>小計 5,224円</u>
		<u>合計 190,000円</u>

小合宿

項目	詳細	金額
施設費	<ul style="list-style-type: none">・薪 750 円×5=3, 750 円・キャンプファイヤー(薪、灯油) 3, 100 円×1=3, 100 円	<u>小計 6, 850 円</u>
交通費	<ul style="list-style-type: none">・バス代（往復）168, 260 円×1=168, 260・バス優良道路代（往復） 9, 860×1=9, 860・緊急車両ガソリン（往復）3, 000 ×1=3, 000・緊急車レンタカ一代 29, 403×1=29, 403・緊急車両有料道路代（往復） 3, 800×1=3, 800	<u>小計 214, 323 円</u>
予備費		<u>小計 9, 127 円</u>
		合計 230, 000 円

2024 年度 後援団体コンサート 活動計画

2024 年 8 月 9 日

報告者 後援団体コンサート 代表 田野五星

【アウトライン】

- ①第 48 回教育学科コンサートについて
- ②練習について
- ③リハーサルについて
- ④共催実行委員会について

【①第 48 回教育学科コンサートについて】

企画名: 第 48 回教育学科コンサート

開催日時: 11 月 9 日(土)

開催時間: 10 時~16 時予定

開催場所: 大東文化大学東松山校舎 60 周年記念講堂

〈1 日の流れ〉

9:30 開場

9:30~10:00 受付

10:00 開会式

10:30 各団体公演(途中休憩あり)

※各団体 4 分~4 分半の発表

15:30 閉会式

16:00 頃 終了

目的: 一人ひとりが音楽に楽しむことで、個々の音楽活動への関心を高める。

音楽授業の成果を発揮する。

学会員が主体となって協力し、発表を作り上げる。

学科内でクラス学年を超えた交流を深める。

共催実行委員会の成果を生かして教員、学生との学科内のつながりを深める。

参加団体 :

1 年生・・・各基礎演習(6 団体)

2 年生・・・AD, BE, CF (3 団体)

3 年生・・・AF, CB, DE (3 団体)

4 年生・・・AD, BC, EF (3 団体)

ゼミ (2 団体程度)

有志団体(4 団体程度)

音楽授業(5 団体程度)

【②練習について】

本番に向けた練習場所として以下の期間で教室を開放する。

1. 東松山校舎 音楽室 7041

期間:9/24(月)～11/8(金) ※日曜日・祝日・全校休講日は除く

時間:月～金曜日 18:20～20:30

土曜日 15:00～19:00

2. 板橋校舎 音楽室 10703

期間:9/24(月)～11/8(金) ※日曜日・祝日・全校休講日は除く

時間:月～金曜日 18:20～20:30

土曜日 15:00～19:00

3. 板橋校舎 プレイルーム・保育実習室 10701

期間:9/24(月)～11/8(金) ※日曜日、祝日、全校休講日は除く

時間:月～金曜日 18:20～20:30

土曜日 15:00～19:00

4. 東松山校舎 60周年記念講堂

期間:10/28(月)、11/1(金)、11/5～11/8(金) ※日曜日、祝日、全校休講日は除く

時間:月～土曜日 9:00～20:00

※4については、授業中、休み時間、空き時間、基礎演習時間中などいずれの時間帯での利用も許可する。但し、団体同士での練習場所の重複を避けるために1～4の施設を利用する場合はコンサート委員にアポを取ること。

【③リハーサルについて】

本番にて円滑に公演が行われるよう各団体1～2回のリハーサルを設ける

期間: 10/28(月)、11/1(金)、11/5～11/8(金) ※日曜日、祝日、全校休講日は除く

時間:月～土曜日 9:00～20:00

場所: 東松山校舎 60周年記念講堂

目的:

- ・本番の場所で本番使用する機材等を用いてリハーサルを行うことで、本番での円滑な進行ができるようにする。
- ・コンサート委員との打ち合わせ(音源や照明の確認、舞台演出の打ち合わせなど)を通して、本番の機材トラブルや演出トラブルを防止する。

【④共催実行委員会について】

〈決定事項〉

●スローガン

『辰巻きを呼ぶ！私たちの青春エボリューション』

●審査について

1. 審査基準について

今年度の審査は以下の審査基準に基づいて行われる。

『放課後』

放課後は、今年のテーマ「青春」から派生したものとなる。

- ・発表テーマに合った個々人の強みとクラスの主張が表現されているか。
- ・審査員各々の思う「放課後」の表現に見合っているか。

2. 審査員について

今年度の審査は以下の審査員構成により評価される。

- ・教員 4 人(基礎演習担当教員を除く)

山中先生、荒井先生、須藤先生、松田先生の 4 名

- ・卒業生 4 人(各後援団体代表予定)

合計 8 人

※審査委員 8 人による審査と学生投票により審査を行う。

3. 賞について

今年度は審査員による審査によって以下の賞が与えられる。

・1 年生部門(上位 2 クラス)

→1 年生の中で審査員の得点が 1 番目と 2 番目に多かった団体に送られる賞

・総合部門(上位 2 クラス)※1 年生、有志、音楽研究、ゼミは対象から除く

→審査員の得点が 1 番目と 2 番目に多かった団体に送られる賞

・MVP 賞

→コンサート全ての発表で 1 番輝いていた 1 人(個人)に送られる賞

・ 審査員長賞

→審査員長が最も良かったと思った有志の団体に送られる賞

・公演団体賞

→審査員を務めていただく後援団体の元代表の方々が最も良かったと思った団体に送られる賞

・衣装賞

→最も衣装や舞台の小道具、セットが輝いていた、工夫されていた団体に送られる賞